

令和 7年度 第4回 地域密着型サービス運営推進会議 報告書

サービス種別	地域密着型通所介護
事業所名	小規模共生ホームひらすま通所介護事業所
開催日時	令和8年 3月 25日 10時 30分 ~ 12時 分
開催場所	ひらすまあらいべ 2F

1 出欠状況

委員			事務局	
	氏名	主な役職等	氏名	役職
出席者	・南 聖子 ・頭川 善一 ・吉井 佐代美	・横田西条成美包括支援センター ・開発本町自治会 ・開発本町福祉活動員	・佐伯 知華子 ・山田 ルリ子 ・出口 てるみ	・ひらすま代表 ・ひらすまあらいべケアマネ ・ひらすまあらいべ管理者

2 活動報告

活動状況
別紙参照
活動状況に対する評価等
<p>・利用状況について:ひらすま代表⇒介護保険サービス利用者に関しては、本家もあらいべも減少が続いている。本家は介護保険の利用者が0人で障がいの人の割合が100%という日もある。特に小多機のあらいべの介護保険の人が減ると経営的にとても苦しく今年度は赤字経営となっている。</p> <p>・在宅で介護をしようという介護力のある家族が少ない。小規模多機能の空き状態を問い合わせる電話もあるが、ほぼ泊まりサービス中心の利用希望で、しかも入所施設の空き待ちという場合が多い。サービス付き高齢者向け住宅や入所施設、GHなどの利用者が増えている。それに比べて障がいの方は、医療の発達により以前は助からなかった生まれつきの病気や障がいを持つ新生児を助けることができるようになったり、発達障害の診断がつくようになったことで障がい児の人数が増えている。何年も病院で療養生活を送ることがなくなり、適切な医療や看護のサービスを受けながら地域で暮らしていくため、地域の中に受け皿が必要となる。ひらすま本家もあらいべも看護職員の割合が高く、医療的ケア児のような医療依存度の高い障がい者児の受け入れが多くなっている。</p> <p>・富山型デイサービス事業所の仲間で作る富山ケアネットワークでも事業所の縮小をする事業所や廃業する事業所も出てきた。⇒何が原因なのか？⇒介護業界は特に人不足が深刻。富山型デイサービスでは大規模施設に比べ、効率が悪い。ひらすまは両事業所とも少人数の利用者一人ひとりに合わせた個別性の高い介護や看護を有資格者で提供しているため加算で何とか経営を維持しているが、赤字経営ではある。年々、介護保険サービス利用者の高齢者が減少し、本家の通所事業所では障がいの生活介護や放課後等デイサービス利用者だけの曜日もある。今後は指定事業所の変更を行うなどの対応をし、経営を継続していこうと考えている。</p>

3 その他報告事項

<p>・今後の予定の「カレーの日」についての説明:外に出る機会の少ない人の外出するきっかけとなったり、地域住民同士顔合わせや知り合う機会となる場所として「ひらすまカレーの日」を開催してみることにした。地域の中にどの程度ニーズがあるかは不明なので、取り合えず4月は「カレーの日」5月はひらすま感謝祭。それ以降、月に1回ずつ何らかの形で地域の方々が集まれるようなきっかけ作りをして、最終的には地域の人たちが主軸となり地域づくりの活動として位置づけしてもらえたら、と考えている。</p>
--

4 要望、助言

<p>要望、助言等</p> <p>・地域包括:カレーの日のチラシが出来たら包括にももらい受けてたい。イベントに参加できそうな地域の方もいるかもしれないので配布したい。</p>
<p>要望、助言に対する事業所の考え方及び対応</p> <p>・地域の方が事業所の方へ実習のために来所されている。第2の人生の歩み方についてお話頂いた。50代60代になってから「学びたい」という気持ちが芽生える方が少なからずおられるとのこと。</p>

(留意事項)

- ①必要に応じて欄を追加してください。
- ②活動報告等報告書に収まらない場合は別紙で資料を添付してください。
- ③運営推進会議開催後、1月以内に報告書を高岡市高齢介護課まで提出してください。

令和 7年度 第 3回 地域密着型サービス運営推進会議 報告書

サービス種別	地域密着型通所介護
事業所名	小規模共生ホームひらすま

開催日時	R8年 1月 28日 13時30分 ~ 14時 30分
開催場所	ひらすまあらいべ 2F

1 出欠状況

委員		事務局		
	氏名	主な役職等	氏名	役職
出席者	荒井 紀子	・横田西条成美包括支援センター	・佐伯 知華子 ・出口てるみ ・山田 ルリ子	・ひらすま代表 ・ひらすまあらいべ管理者 ・介護支援専門員

2 活動報告

活動状況	・別紙参照
活動状況に対する評価等	<p>◎ひらすま代表: 昨年の年末に餅つき大会を開催した。1週間前の天気の良い日を開催日に設定し、チラシを作製。事業所の近所にチラシを配布、木町と開発本町で付き合いのある店舗に貼らせてもらい周知した。本家とあらいべの利用者の方、法人関係者の家族、近隣住民の方々が集まられた。ただ餅を次々に突いて食べるだけだったので、次回は餅を突く時間を設定し時間をかけて来られた人たちと交流できるイベントにしたいと思っている。餅つきの際に参加された方達に子供限定ではない子ども食堂のような地域食堂を提案し地域の方に打診する予定だったが、それもできなかった。</p> <p>◎ひらすま管理者: 12月に事業所サービス自己評価を実施し、その結果をまとめた書類を運営推進会議に参加して頂いた事のある外部の人に見てもらい評価してもらいたいが、今年度は包括支援センターさんしか参加頂けなかった。そもそも、利用登録人数が他の事業所の半分程度しかいない。高齢者の新規契約が12月にあったが、障がい者と一緒にごす場所は嫌とのことで契約破棄された。⇒包括支援センター: 包括の方に相談があるのは困難事例ばかりで、地域での生活が限界になってから相談される方が多くなった。すぐに医療機関へ入院されたり緊急でショートステイの利用になるなど通所サービスから開始のパターンが減っている。</p>

3 その他報告事項

<p>◎ひらすま代表: 今年度は運営推進会議に地域の方が殆ど参加されなかった。会議開催のお知らせを配布する際、話し合う具体的事項を示してみたらどうかと思っている。他の事業所では運営推進会議にどのような人たちが参加されているか? ⇒包括: GHの会議に参加した際はその地区の民生委員や婦人部長など。自治会の役員が参加されていることが多い。1月から新規役員に交代する自治会が多いので、次回の会議には顔合わせ的な場になればよいのでは?</p> <p>◎包括: 他のGHなどの事業所から看取りについて聞かれることがあるが、ひらすまは看護師が多いから看取りまでできているか? ⇒ひらすま代表: 看取りまで関わりたいと思っているが、そもそも高齢者が少ない。自分達は看取りまで、と思っても主治医が同じように思っていない場合もある。ひらすまの嘱託医からも交代したいから他の医師を探してほしいと言われているが、どちらの医師に相談したら良いのか思案中である。</p> <p>◎木町自治会の話: ネットヨタの会社が木町の元帝国金属の工場跡に複合施設を建設する予定とのこと。今年から工事が始まる。トヨタ車の展示販売店舗とカフェやドッグランができるらしい。完成すれば木町が活気づくのではないかと期待している。⇒木町が活性化するか、どの程度影響があるか不明だが、イベント時にコラボできたらいいのでは?</p> <p>◎包括: 最近、若年性認知症の方や障がい者の方が65歳になるから障害福祉サービスから介護保険サービスに移行するなど、障害者総合支援法の制度や社会福祉サービスの勉強が必要だと痛感している。⇒ひらすま代表: その点ではひらすま居宅のケアマネは社会福祉士の資格を取り、そのケアマネの横で障害福祉の相談支援員が計画作成したりしているので、どちらの制度にも対応である。</p>

令和 7年度 第 2回 地域密着型サービス運営推進会議 報告書

サービス種別	地域密着型通所介護
事業所名	小規模共生ホームひらすま
開催日時	R7年 9月 24日 10時 30分 ~ 11時 30分
開催場所	ひらすまあらいべ 2F

1 出欠状況

出席者	委員		事務局	
	氏名	主な役職等	氏名	役職
	・針本 久美子	・横田西条成美 包括支援センター	・佐伯知華子 ・出口てるみ	・法人代表 ・ひらすまあらいべ管理者

2 活動報告

活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙参照
活動状況に対する評価等	<p>・(ひらすまあらいべ)利用者の登録人数は変わらないが9月に入ってから続けて3人が病院へ入院された。その内の1人は退院され利用を再開。他の1人も近く転院し来月に在宅生活に戻る予定。あとの1人は家族の意向で入所される予定。登録者数の減少が続いている。</p> <p>・(包括)在宅介護サービスを利用したいと希望する人自体が少なくなってきた。</p> <p>・(ひらすま)最近が高齢の親と同居する子供が少ない。離れて暮らす子供がたまに帰省しても親の認知症初期の症状には気付かないため、治療が遅れてしまう。</p> <p>認知症が進行してしまいどうにもならない状態になって近隣住民から心配だったりクレームだったりの情報が入っても、在宅介護(特に通所サービス)は難しく、泊まり中心のサービスや入所系の施設サービスへ流れてしまう。</p> <p>・(包括)障害のある子どもの世話をずっとされてきた親が認知症になり、自分自身の生活だけでなく子供の生活も立ち行かなくなってしまう事例や今でも介護保険サービスについて理解が不十分だったり、介護サービスが必要な人であるにも関わらず社会や地域のつながりからあぶれていたりする人も増えてきている。</p> <p>・(ひらすま)認知症があっても障がいがあっても地域で暮らし続けたいと思っている方がおられたら、ひらすまに声を掛けてもらいたい。</p>

3 その他報告事項

<p>・11月23日に地域福祉フォーラム2025を開催。今年が高岡市で。ウイングウイング高岡にて開催し、出町高岡新市長が登壇され富山県厚生部長、ひらすま代表佐伯らとパネルディスカッションを行う。コーディネーターは高岡市社会福祉協議会会長の炭谷氏。介護、福祉関係者や地域作りや子育て、教育関係・地域のたくさんの方に来て頂きたい。</p>

4 要望、助言

要望、助言等	<p>◎(ひらすまあらいべ)独居高齢者で生活保護受給者の利用者さんに後見人が必要となった。別居している家族に依頼することが出来ないの、市長申し立てとなる。元々軽度の知的障害と身体障害があり20年ほどひらすまに関わってきた。年齢を重ねADLの低下・身体機能の低下なども目立ってきたことに加え、認知症が進行し金銭管理に関する問題や住居のゴミ屋敷化などが明らかになった。</p> <p>・(地域包括)地域ケア会議を開催し、長寿福祉課、社会福祉課、社協、地域の民生委員、後見人を依頼する行政書士or社会福祉士、ケアマネ、あらいべ管理者等々が集まり話し合えば迅速な対応ができるのではないかと。行政サイドや関係者には包括の方から声をかけ、包括主導で会議開催することになる。</p> <p>・支援者が増える事は大変助かるし、皆さんで方向性を共有でき課題解決に向け素早い対応が出来るので、地域ケア会議開催する方向でお願いしたい。</p>
--------	--

令和 7年度 第 1回 地域密着型サービス運営推進会議 報告書

サービス種別	地域密着型通所介護
事業所名	小規模共生ホームひらすま
開催日時	R7年 5月 21日 13時 30分 ~ 14時 20分
開催場所	ひらすまあらいべ 2F

1 出欠状況

出席者	委員		事務局	
	氏名	主な役職等	氏名	役職
	・橋本米暁 ・林 政紀子 ・椎名真歩	・開発本町自治会長 ・横田西条成美包括 支援センター ・高岡専門学校	・佐伯知華子 ・山田ルリ子 ・出口てるみ	・法人代表 ・介護支援専門員 ・ひらすまあらいべ管理 者

2 活動報告

活動状況
・別紙参照
活動状況に対する評価等
<p>◎4月から開発本町の自治会長さんが交代されたため、ご挨拶と危険建造物(車庫)に関する相談をさせてもらった。近隣住民の方への聞き取りと当該車庫の管理者に連絡をされ、話し合いの内容を文書にして頂いた。台風の際などトタンの波板や屋根板、釘などが道路側に散乱し事業所外壁が損傷したり、近所の方の車に傷が付いたりしたこともあり、その都度車庫管理者さん宅に伝えたりしてきた。今回の自治会長さんの聞き取りの結果もすぐに対応してもらえる様子ではなく、改善の見込みは薄いため、周囲の者で事故の無いように気を付けていく必要があると思う。</p> <p>◎放課後等デイサービスの利用児はどここの学校の児童か？⇒高岡支援学校とこまどり支援学校の児童。以前は万葉小学校などの普通学校の支援学級の児童が利用したこともある。健常児の学童保育のように利用される場合もあるが、少子化により子供の人数自体が減少している。その一方、共働きの家庭が増え学童保育は利用希望児が定員オーバー傾向とのこと。事業所では職員の未就学児の託児をしていて、いろいろな年代の利用者がいる。 ・ひらすまが開所した20年前当時は木町公園で子供たちがたくさん遊んでいたが、最近はほとんど見かけなくなった。高岡市全体で見ると社会的人口は100人余り増加しているらしい。</p> <p>・しらとり台の新興住宅地には若い世代が集まっているようで、同じような子育て世代が集まっているのでは。</p> <p>◎地域の課題の一つとして空き家問題や認知症を患う独居高齢者の問題などがある。地域の困りごとは何かあるか？⇒どここの町内にも宗教の勧誘や住宅改修業者などいろんな訪問販売のセールスがやって来る。あらいべ利用者が宗教の勧誘で大きなトラブルに発展しなかったのは、近隣住民の方の見守りと連携があったから。地域の見守りや協力は重要である。</p> <p>・認知症があったり医療的ケアのある方を地域で最後まで支えるということはひらすまの理念でも掲げているが、家族の形態や意向、介護力の問題などで困難になってきている。</p> <p>・(包括)両親とも要介護状態で認知症があったりして小規模多機能のサービス利用されている家庭の息子さんが介護離職されてしまった事例がある。その家庭の経済状況(自営業だったため国民年金)を考えると息子さんの給料が収入源として重要だったのだが…⇒母親の介護をするために息子さんが介護離職されるというパターンが多い。日中は通所のサービスを利用すれば離職せずに在宅介護は可能なのでは。</p>

3 その他報告事項

<p>・開発本町自治会長さんより: 近所のここに農園でさつま芋の苗植えをする予定。水やりは近所の高齢者が行っている。10月の収穫時に参加してもらえるので声掛けします。</p>

4 要望、助言

<p>要望、助言等</p> <p>・ひらすまから包括へ: 在宅での看取りの支援をするためには24時間訪問診療可能な医師がかかりつけ医でないと実現できない。今までの協力医が高齢で他の医師を探してほしいと言われたが、成美地区で在宅医療に熱心な医師がおられないか? 情報があれば教えて頂きたい。⇒持ち帰って他の職員にも聞いてみます。</p>
